

エジプト文化・文化財研究

研究代表者	文学部 教授 吹田 浩
研究概要	本ユニットは、エジプト学者、考古学者、保存科学者、土木・建築工学の研究者からなり、エジプトの文化の研究と、それに基づくエジプトの文化財の修復技術の開発、修復活動の実施、文化財活用方法の検討などを行うことを第一の目的とする。メンバーは、日本人のみならず、エジプト人、ポーランド人の研究者からなっており、国外の技術を吸収し、我々が開発した技術をエジプトなどへ還元することを第二の目的とする。 テスト・ケースとして、サッカーにあるイドゥートのマスタバ墓の地下埋葬室壁画を扱う。この壁画は4千年以上の時の経過によって劣化し、修復が急がれているものである。
学内研究員	文学部 教授 米田 文孝 環境都市工学部 准教授 伊藤 淳志 環境都市工学部 准教授 西形 達明 (※所属・職名はプロジェクト終了時点)
学外共同研究者	国士舘大学 教授 西浦 忠輝 エジプト古物最高評議会 古物研究修復センター アーデル・アカリシュ エジプト古物最高評議会 古物保存修復中央委員会委員長 アフメド・シュアイブ (※所属・職名はプロジェクト終了時点)
設置期間	平成17年5月31日～平成22年3月31日
設置場所	法学部・文学部研究室1号棟3階45号室（吹田浩研究室）